新居 明子 Nii Akiko

教員の教育・研究活動概況

役職/職名	教授	所属	外国語学部 英米語学科
ふりがな	にい あきこ	性年	
学歴	北海道大学文学部文学科（英文学専攻） 卒業 北海道大学大学院文学研究科修士課程修了（英文学専攻）修了 Bangor University MA 修了 Arizona State University MTESL 修了 筑波大学大学院文学研究科博士後期課程（英文学専攻）単位停退退学（2001年）		
学位	学士（文学）【1994年 北海道大学】 修士（英文学）【1997年 筑波大学】 Master of Arts in Arthurian Literature【2002年 Bangor University, UK】 Master of Teaching English as a Second Language【2005年 Arizona State University, USA】		
研究分野	アーサー王文学、英語教育歴史学、英語教育		
研究テーマ	児童文学作品におけるアーサー王伝説 語学教育における英語絵本の活用		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	概要
活用学習で物語を読む：リテラクティー・サークルとウィット・ディスカッションを活用したリーディング授業	単	2016.7	名古屋外国語大学出版会	
先生が驚く多言語学習のための移論教育の10章「『社会人編』	共	2017.3	スクウェンプレイ	
English Language Teaching: Current Issues and Future Prospects 1: Voices of Practitioner Researchers in Japan	共	2026.4	Springer Nature	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	概要
英語の授業：Sir Gawain and the Green Knight における Epitaurn：Hold	単	1998.3	筑波大学大学院文学会 『主流』 第94号	
Typification and Idealization: The Divided Hero in The Wedding of Sir Gawain and Dame Ragnell	単	1999.3	筑波大学大学院文学会 『Tsukuba Literature』 第42号	
講読力の向上：The Wedding of Sir Gawain and Dame Ragnell における作品構造	単	2000.3	筑波大学大学院文学会 『主流』 第91号	
"The Gude Man of Ermes" :Gawain in the Alliterative Morte Arthure	単	2001.3	筑波大学大学院文学会 『Tsukuba Literature』 第44号	
Romance Tradition and Unjust Lordship: Gawain in The Awntyrs off Arthure at the Terne Wathelyne	単	2002.3	筑波大学大学院文学会 『Tsukuba Literature』 第45号	
Gawain's "Family Liability": Le Morte Darthur における論点の移と変容の検討	単	2003.3	筑波大学大学院文学会 『主流』 64号	
二人称単数代名詞「-form / V-form」The Awntyrs off Arthure における Authorship論争について考察	単	2005.3	筑波大学大学院文学会 『主流』 第66号	
From Writing to Speaking: On Japanese ESL Learner's Ability in Producing English Tag Questions	単	2005.3	慶應義塾外国語教育センター『慶應義塾外国語教育研究』 創刊号	
Louis SatcherChronicleにおける主人公Stanley の成長と「自己概念度」	単	2012.3	日本イギリス児童文学会 『研究論文 児童文学研究』『TINKER BELL』 第31号	
Silent Discussion を用いたポスト・リーディング活動	単	2013.3	慶應学部研究教育センター『KATE Journal』 第17号	
Literature Circle を活用したリーディング授業：学習者主体のグループワークの観察	単	2014.3	慶應学部研究教育センター『KATE Journal』 第18号	
父と子と相棒：Stuck in Neutral における父親像とその役割	単	2015.3	日本イギリス児童文学会 『研究論文 児童文学研究』『TINKER BELL』 第32号	
TONE FIECE【 と 生馬】	単	2016.2	『名古屋外国語大学外国語学部 紀要』 第50号	
A Comparative Textual Analysis of Abridged Jane Eyre: From the Viewpoint of the Development and Character Description	単	2016.3	日本英語学会 『JERA Bulletin』 第46号	
物語の力：『アーサー王とこの騎士』における『金槌』と『聖杯』の意味	単	2017.7	『名古屋外国語大学論集』 第1号	
『クウェイプ・ラーニングの外国語教育』研究会報告	共	2018.2	『名古屋外国語大学論集』 第1号	
『英語教育と国民の知識基盤の形成』中国、英国、米国、フランス、ベネラムの事例	共	2018.7	『名古屋外国語大学論集』 第1号	
ローズマリ・サトクリフの『アーサー王伝統 の』に見るクウェイン像：再読における『金槌』『金輪』『団金』をめぐって	単	2026.7	英語教育歴史学会『英語教育歴史学研究』『TINKER BELL』 第71号	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	概要
変容する主人公たち：The Wedding of Sir Gawain and Dame Ragnell における Arthur, Gawain, Ragnell 世界心に	単	1999. 6	日本中英語英文学会第13回西支部例会	
Hallory における Gawain のFamily Liyalty	単	2001. 12	国際アーサー王学会日本支部 2001年度総会	
The Awntyrs off Arthure at the Terne Wathelyn における二人称単数の役割：二つのエピソードの接続性について一考察	単	2003. 12	国際アーサー王学会日本支部 2003年度総会	
Camp Green Lake で「人間再生」？：Louis SatcherChronicle における Etiwelyn の意義の再評	単	2011. 6	日本イギリス児童文学会東支部 2011年春の例会	
Silent Discussion を用いたグループワークの実践ー学習者自身の主体的参加を促すポスト・リーディング活動	単	2012. 8	第36回全国英語教育学会愛知研究大会	
学習者主体のリーディングの授業ーLiterature Circle を用いた自己表現活動	単	2013.8	第37回全国英語教育学会	
「人称」の「壁の亡精神性」か？：Stuck in Neutral における父親像	単	2013.9	日本イギリス児童文学会中部支部 2013年秋の例会	
Graded ReadersをSome Eyrs に留まる一考察：プロット展開と人物描写という視点から	単	2014.8	第40回全国英語教育学会徳島研究大会	
TONE FIECE（ワンピース）と『生馬』：メアビッド展開に見た物語生成要素の抽出から	単	2014.9	日本イギリス児童文学会中部支部 2014年秋の例会	
物語生成と：『アーサー王とこの騎士』における金槌と聖杯	単	2016.11	日本イギリス児童文学会 第40回研究大会	
自己概念と教師理解を軸に据えた教育：多文化共生社会の実現を目指して	単	2018.9	日本イギリス児童文学会中部支部 平成30年度秋の例会	
Rosemary Sutcliff のアーサー王三部作における ダウェン像	単	2024.5	日本英文学会第96回全国大会	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	概要
世界教養プログラム副会長	2017.4～	
グローバル共生社会研究所運営委員（上智研究員）	2018.6～	
WLAC オープンカレッジ運営委員	2023.4～	
教務委員	2023.4～	
FD委員	2023.4～	
CLAC運営委員	2025.4～	
CLED PLI研究員語主任	2026.4～	
英米語学科リーディングチーム メンバー	2013.4～	
英米語学科Extensive Reading 3,4 科目コーディネーター	2017.4～	
世界理論の方法 日本理解の方法 科目コーディネーター	2018.4～	
Listening Comprehension 1,2 科目コーディネーター	2019.4～	
英米語学科オープンキャンパス委員	2026.4～	
英米語学科Freshmen Welcom委員	2022.4～2025.3	
英米語学科海外留学アドバイザーサポート	2017.4～2025.3	
学生厚生委員	2017.4～2023.3	
保健管理センター運営委員	2018.6～2025.3	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	概要
Listening Tips: 英語リスニングのためのポイント20	共	2024.3	名古屋外国語大学出版会
Listening Tips: 英語リスニングのためのポイント20（改訂版）	共	2025.3	名古屋外国語大学出版会

主な職務上の業績

資格・免許

資格・免許の名称	取得年月	発行者・登録番号	概要
高等学校教諭第一種免許（英語）	1994.9.1	京都府教育委員会	平４周１の第８６４号
中学校教諭専修免許（英語）	1997.3.31	京都府教育委員会	平８中専の第１２５号
高等学校教諭専修免許（英語）	1997.3.31	京都府教育委員会	平８専専の第１６２号
実用英語技能検定1級	2003. 11	英検協会 No. J1000053	

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動地域名
1999-2000年度 ロータリー財団国際親善奨学生	1999. 9～2000. 8	ロータリー財団
英語絵本読み聞かせ代表ランティア活動	2015.6～	リトル・スターズ
日進市立図書館・名古屋外国語大学連携事業協議会	2017.10～	名古屋外国語大学

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本英文学会、日本中世英語英文学会、国際アーサー王学会、英語教育歴史学会、全国英語教育学会、日本児童学会、絵本学会

所属学会役員歴

所属学会及び役職名	期間（年月）	概要
国際アーサー王学会日本支部会員（理事／英文翻訳 担当）	2015.1（理事2016.4～）～2018.2	
英語教育歴史学会（旧日本イギリス児童文学会）中部支部事務局	2018.2～2022.3	
英語教育歴史学会（旧日本イギリス児童文学会）TINKER BELL編集委員	2022.4～2025.3	
英語教育歴史学会（旧日本イギリス児童文学会）理事	2026.4～	

主な職歴

期間（年月）	事項
1998.4～1999.3, 2001.4～2002.3	日本福祉大学　福祉学部　非常勤講師
2001.4～2002.3	愛知学院大学　経営学部・法学部　非常勤講師
2001.4～2002.3	名城大学　経営学部・経済学部　非常勤講師
2001.4～2002.3	大同工業大学　工学部　非常勤講師
2004.4～2005.3	昭和薬科大学　薬学学部　非常勤講師
2003.9～2005.3, 2010.9～2013.3	慶應義塾大学　文学部(日吉)　非常勤講師
2012.4～2013.3	慶應義塾大学　理工学部（日吉）非常勤講師
2013.4～2017.3	名古屋外国語大学　外国語学部　外国語総合専攻講師
2022.10～2023.3	NHK文化センター名古屋教室　講師
2017.4～2025.3	名古屋外国語大学　外国語学部　准教授
2026.4～	名古屋外国語大学　外国語学部　教授

受賞学術賞

受賞事項	年月	概要
John F. Dandy Memorial Prize in the Year 2000	2000. 6	The best first-year postgraduate student in the English Department, University of Wales, Bangor

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
Extensive Reading 3, 4	外国語学部英米語学科
Reading and Discussion 1, 2	外国語学部英米語学科
Listening Comprehension 1,2	学部共通英語基礎プログラム
世界理論の方法 日本理解の方法（コーディネーター）	世界教養プログラム

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
・資料配布、課題、小テスト等にMoodle/Google Classroom等のオンラインツールを活用している。 ・講義テキストとして、筆者にStudy Guideを配布し、フィードバックやコメントを次回で返却している。 ・講義形の授業であっても、ペアワーク等を活用し、学習者同士の交流を促進している。 ・リーディングの授業ではLiterature Circles を活用して、作品の物語テーマについてグループで議論し発表するアクティブ・ラーニング型の授業を実施している。

学内運営に関する主な役職等

役職名	期間（年月）	概要
英米語学科 リーディングチーム メンバー	2013.4～	
英米語学科 Extensive Reading 3,4 科目コーディネーター	2017.4～	
世界理論の方法 日本理解の方法 科目コーディネーター	2018.4～	
Listening Comprehension 1,2 科目コーディネーター	2019.4～	
英米語学科 オープンキャンパス委員	2026.4～	
英米語学科 Freshmen Welcom委員	2022.4～2025.3	
英米語学科 海外留学アドバイザーサポート	2017.4～2025.3	
学生厚生委員	2017.4～2023.3	
保健管理センター運営委員	2018.6～2025.3	
世界教養プログラム副会長	2017.4～	
グローバル共生社会研究所運営委員（上智研究員）	2018.6～	
WLAC オープンカレッジ運営委員	2023.4～	
教務委員	2023.4～	
FD委員	2023.4～	
CLAC運営委員	2025.4～	
CLED PLI研究員語主任	2026.4～	

学外活動

役職名	期間（年月）	概要
1999-2000年度 ロータリー財団国際親善奨学生	1999. 9～2000. 8	
英語絵本読み聞かせ代表ランティア活動	2015.6～	
日進市立図書館・名古屋外国語大学連携事業協議会	2017.10～	
国際アーサー王学会日本支部会員（理事／英文翻訳 担当）	2015.1（理事2016.4～）～2018.2	
英語教育歴史学会（旧日本イギリス児童文学会）中部支部事務局	2018.2～2022.3	
英語教育歴史学会（旧日本イギリス児童文学会）TINKER BELL編集委員	2022.4～2025.3	
英語教育歴史学会（旧日本イギリス児童文学会）理事	2026.4～	